



産業廃棄物処理計画実施状況報告書等提出シート

下記 1 の書類について、別添のとおり提出します。

記

1 提出書類 ＜該当を選択＞	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画書 (PDF ・ 書類) 1部) <input type="checkbox"/> 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF ・ 書類 1部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画書 (PDF ・ 書類 部) <input type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (PDF ・ 書類 部)
2 提出者	(住所) 〒660-0844 兵庫県尼崎市東浜町1番地の1 (名称・代表者氏名) 株式会社ジオレ・ジャパン 代表取締役 柴垣 雄一
3 対象事業場	(所在地) 〒660-0844 兵庫県尼崎市東浜町1番地の1 (名称) 株式会社ジオレ・ジャパン (事業場コード(6桁)) 999108
4 事業場データ	(業種コード(4桁)) 2199 (業種名) 他に分類されない窯業・土石製品製造業 (フレーム: 製造業は製品出荷額、その他は従業員数) 8,192万円 ・ 49人
5 ご担当者	(所属) 技術部 技術課 (氏名) 濱田 賢吾 (電話) 06-6411-3648 (FAX) 06-7176-9779 (E-mail) hamada10556@dinsgr.co.jp

(その他事業所)

本用紙は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第11項及び第12条の2第12項で定める公表対象の様式ではありませんので、同法により公表することはありません。

ただし、別添の様式はすべて公表されますので、別添の様式中に個人情報等を記載しないようご注意ください。

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 22日

尼崎市長 殿

提出者



住所 兵庫県尼崎市東浜町1番地の1

氏名 株式会社ジオレ・ジャパン

代表取締役 柴垣 雄

電話番号 06-6411-3648

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ジオレ・ジャパン 本社工場
事業場の所在地	兵庫県尼崎市東浜町1番地の1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2199 他に分類されない窯業・土石製品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 8,192万円（令和4年度実績）
③従業員数	49人（令和5年3月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 設備機器等の運送にあたって、簡易包装とすることで、廃プラスチック等の排出を抑制する。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 設備機器等の運送にあたって、簡易包装とすることで、廃プラスチック等の排出を抑制する。 これまでに実施してきた取組みを、各従業員へ周知徹底させる。 金属くずなど有価物の回収を強化し、産業廃棄物の排出抑制に努る。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 排出される産業廃棄物の中から金属くずを回収し、金属くずについてはリサイクルする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記分別を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 特になし。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 特になし。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 排出した産業廃棄物は、すべて優良認定処理業者への処理委託を行った。		

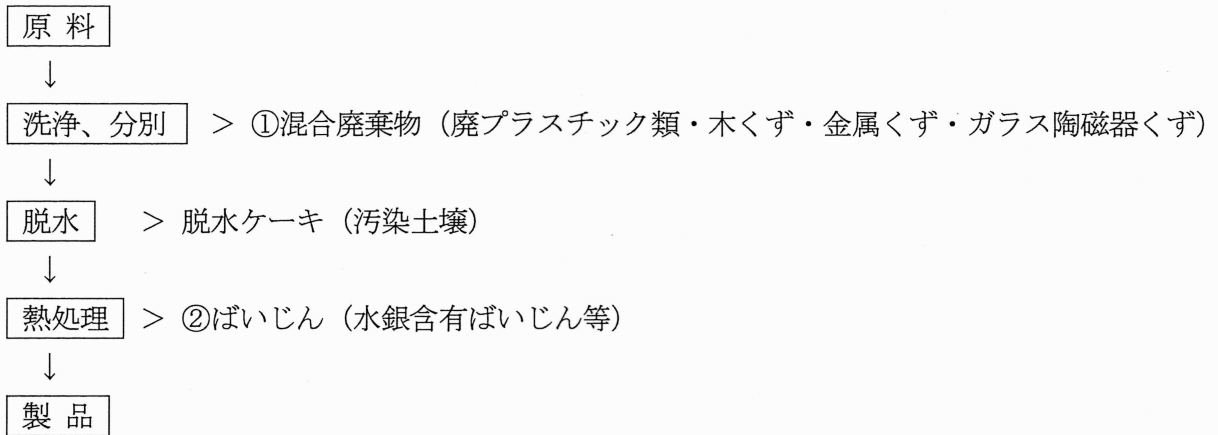
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、優良認定処理業者への処理委託を継続し、産業廃棄物の適正処理に努める。	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



その他修繕工事>③がれき類、④水銀使用製品産業廃棄物（金属くず、ガラス陶磁器くず）

※③は、該当施設の修繕工事がなければ発生しない

①混合廃棄物（廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）

収集運搬<委託：大栄環境㈱>

→ 選別、破砕リサイクル、廃棄<委託：DINS 関西㈱、大栄環境㈱>

②ばいじん（水銀含有ばいじん等）

収集運搬、埋立<委託：大栄環境㈱>

③がれき類

（設備修繕時発生）収集運搬、埋立<委託：大栄環境㈱>

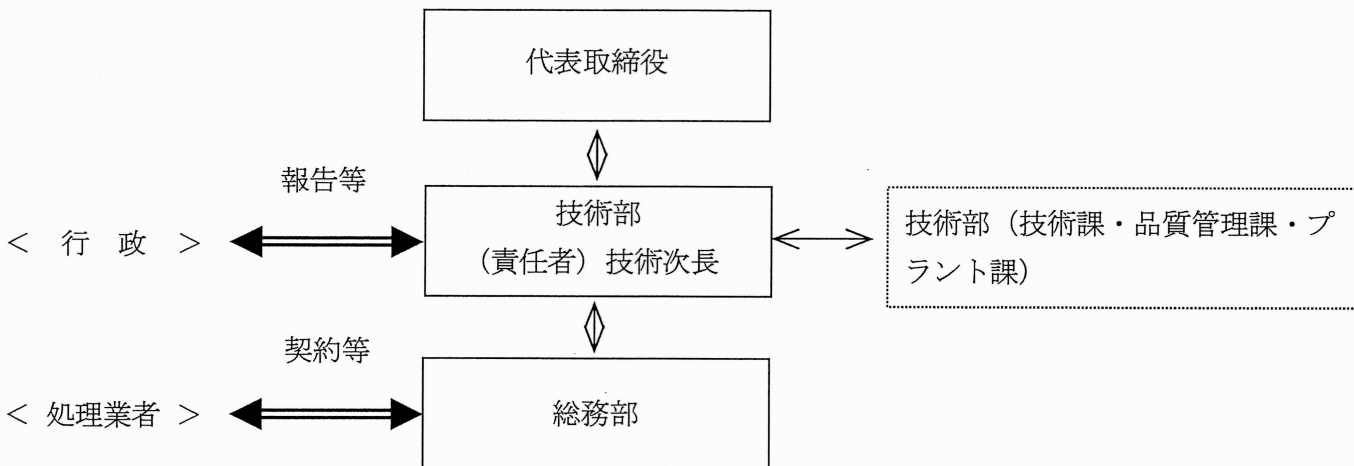
④水銀使用製品産業廃棄物（金属くず、ガラス陶磁器くず）

収集運搬<自社運搬：㈱ジオレ・ジャパン>

→ 選別、破砕リサイクル、廃棄<委託：DINS 関西㈱>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



(分担)

技術部

- ・ 工場内の統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・ 工場内の廃棄物処理計画等の策定、部署間の調整、行政への報告
- ・ 廃棄物の引渡し、適正処理の確認
- ・ 工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督
- ・ 課内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・ 課内スタッフへの分別方法等の徹底

総務部

- ・ 処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○ 現状 前年度 (令和4年度) 実績

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2100 安定型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2600 水銀含有ばいじん等 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (ばいじん)	2500 水銀使用製品産業廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (金属くず、ガラス陶磁器くず)	1500 がれき類	合計
排出量	71.68 t	305.30 t	747.58 t	0.01 t	31.32t	1155.89 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2100 安定型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2600 水銀含有ばいじん等 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (ばいじん)	2500 水銀使用製品産業廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (金属くず、ガラス陶磁器くず)	1500 がれき類	合計
排出量	50 t	200 t	700 t	0.01 t	25t	975.01 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○ 現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○ 現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○ 現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度（令和4年度）実績

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2100 安定型混合廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず）	2600 水銀含有ばいじん等（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （ばいじん）	2500 水銀使用製品産業廃棄物（以下、含まれる産業廃棄物の種類） （金属くず、ガラス陶磁器くず）	1500 がれき類	合計
全処理委託量	71.68 t	305.30 t	747.58 t	0.01 t	31.32 t	1155.89 t
優良認定処理業者への処理委託量	71.68 t	305.30 t	747.58 t	0.01 t	31.32 t	1155.89 t
再生利用業者への処理委託量	71.68 t	305.30 t	0 t	0.01 t	0 t	376.99 t

認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0t	0t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	2200 管理型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・木くず・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2100 安定型混合廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (廃プラスチック類・金属くず・ガラス陶磁器くず)	2600 水銀含有ばいじん等 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (ばいじん)	2500 水銀使用製品産業廃棄物 (以下、含まれる産業廃棄物の種類) (金属くず、ガラス陶磁器くず)	1500 がれき類	合計
全処理委託量	50 t	200 t	700 t	0.01t	25t	975.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	50 t	200 t	700 t	0.01t	25t	975.01 t
再生利用業者への処理委託量	50 t	200 t	0 t	0.01t	0t	250.01 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0t	0t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0t	0t	0 t